

世界中から訪れる
若者がアキラに共感!



■アキ・ラー編著
■B6変型判・上製
■168頁(カラー8頁)
■定価 1,365円
(本体1,300円+税)



アキラの
地雷博物館とこどもたち

アキ・ラー 編著

地雷をなくしたい!

ひとりで2~3万個の地雷を処理し
アンコールワットのそばに地雷博物館をつくり
地雷で手足をうばわれたこどもたちを育てる
元少年兵アキラの初めての本
(カンボジア人)
三省堂

地雷がなくなるまで、
最後の1個まで掘りつづけたい!

アキラの地雷博物館

「アキラ、うちの畑の地雷を掘ってくれ」
「大変だ。こどもが不発弾で遊んでいる!」
すぐかけつけるアキラは村人に信頼される地雷処理のエキスパート。
5歳でボル・ポト軍に両親を殺され、10歳で銃を持ち、
20歳までカンボジア内戦(1970~198年)を戦った元少年兵。
「人々を地雷の恐怖から解放したい」。それがアキラの夢だ。



●アキ・ラー Aki Ra(通称 アキラ)

32歳(2005年現在)。カンボジア人。5歳でボル・ポト軍に父母を殺され、20歳までボル・ポト軍、ベトナム軍、カンボジア軍で少年兵として戦い、地雷を埋めた。20歳で国連軍で地雷処理を始める。村人に頼まれて地雷や不発弾処理に無料で出かけるディマイナー(地雷排除人)。26歳(1999年)で自宅兼「地雷博物館」を公開。どこからも援助なしに見学客の寄付で運営。「地雷の危険と戦争の悲惨さを伝えたい」と自分で掘った地雷や不発弾を展示し、戦争孤児や地雷被害のこどもを養育している。今までに処理した地雷は「2~3万個」。



こどもたち



MOST COMMON DANGERS IN CONTAMINATED AREA

地雷をなくしたい!

ひとりで2~3万個の地雷を処理し
アンコールワットのそばに地雷博物館をつくり
地雷で手足をうばわれたこどもたちを育てる
元少年兵アキラの初めての本

パート1●アキラが見た戦争の話

パート2●地雷で被害を受けたこどもたちの話

ふりがなつき

三省堂

〒101-8371 東京都千代田区三崎町2-22-14 TEL 03-3230-9412(営業) 9411(編集)



平和な村を破壊した戦争のありのままの姿。

アキラが少年兵として見た戦争の話(パート1)と、いま、地雷被害をうけるこどもたちのことば(パート2)。

アキラの地雷博物館とこどもたち 目次

◎ ようこそ地雷博物館へ◎アキラの年表

パート1 ■ マイ・ストーリー(アキラの物語)

1 戦争孤児
こどもグループ / 父のこと / 母のこと / 父と母が殺されたときのこと / いちばん古い記憶 / フタの餅を食べた友だち / パナナを盗んだ男 / 悪い人、良い人 / 教育

2 ボル・ポト軍で

初めての銃 / 泳ぎ / 友だちの死 / 制服 / 毒入りスリーブ / 生け挿し / 戦車 / ノーチョイス(選抜隊なし) / ベトナム軍で

3 ベトナム軍で

ゾウの鼻 / ソ連製モンスロ地雷 / 毒ガス入り弾倉 / B40手榴弾 / クレイモア地雷 / パトリール隊 / 牛と地雷 / 叔父さん / 敵と味方 / 村の襲撃 / 地雷の被害 / 友だちと地雷 / 人間地雷探知機 / ベトナム軍による破壊 / サルヒクマと地雷

4 カンボジア軍で

AK47をもつて通学 / 対戦車地雷 / 奇襲 / 強奪とワイロ / 強制労働 / 検問所

5 アンタク(国連軍で)

カルチャーショック / 地雷処理を始める / 一人で掘りつけていこう

6 地雷博物館をつくらう

戦争の遺物 / 一人で建てよう / 泥棒も友だち / 見張塔 / 地雷博物館オープン

7 デイマイナー(地雷掃除人)

シンプルな方法 / 村の人に頼まれて地雷を掘る / 仕掛けられた地雷 / カンボジア製の地雷はない / 赤ちゃんと地雷 / 新たな被害

8 生きること、死ぬこと

わたしの家族 / 戦争中いちばんつらかったこと / 死ぬこと / まきぞえ / お前は敵だ！ / 両親を殺した人も友だち / 人のために生きたい

9 カンボジアの歴史

パート2 ■ 地雷博物館のこどもたち

ターベル / ハック / トール / スレイ / ウイチェット / ボイ / ポイ / ソーリ / ソパート / ラー / ボーリヤ / ヴォーラック

アキラ Q & A

本書はふりがなつき



わたしはホット・ハックです。

わたしが8歳のときでした。
ある日、友だちと3人で畑で牛の世話をしていました。遠くへ車を追っていったとき、地雷を踏みました。地雷が爆発してわたしはたおれ、破片があたりこぼれまわりました。破片があたった友だちの1人は死にました。
わたしには、そのとき、何が起きたかわかりませんでした。事故から1日たって、自分が足をなくしたことがわかりました。右のひざから下がなくなっていました。
アキラさんがトレンサップ園にやってくるまでわたしの写真を撮ったとき、博物館に連れていってほしいと頼みました。うちは貧しくて、わたしが学校に行かせるようにならなかったため、わたしが勉強できるチャンスをつかんで良かったと家族は喜びました。
わたしは1999年に博物館にきました。またばかりの

本文132頁より こどもたちのことば



三省堂 〒101-8371 東京都千代田区三崎町2-22-14 <http://www.sanseido.co.jp/> (本の詳しい紹介あり)
☎03-3230-9411(編集) ☎03-3230-9412(営業) 三省堂営業部 FAX 03-3230-9569

●この注文用紙で、もよりの書店へお申し込みください。 切り取り線

注文書	アキラの地雷博物館とこどもたち		注文数	冊	書店名・場合
	ISBN 4-385-36208-4 税込1,365円(本体1,300円+税)				
	住所 〒				
	氏名				
TEL/FAX					

●お客様の個人情報は本書のご注文確認のみに利用し、その目的以外には利用しません。

三省堂